

令和5年度企画展

文字が語る 古代多賀城

Characters tell the ancient Tagajo



都市の繁栄を読み解く

展示の内容

- 1 文字のはじまりと広がり
- 2 文字の使い手—役人の仕事—
- 3 多賀城に集まるヒト・モノ
- 4 文字に込める不思議な力
- 5 現代につながる古代の願い
- 6 内政・外交を映す多賀城碑

2023年

10. 7^土 — 12. 17^日

多賀城市埋蔵文化財調査センター展示室

(多賀城市文化センター内)

観覧無料

主催 / 多賀城市教育委員会

2024年(令和6年)に多賀城
は創建1300周年を迎えます



つなぐ、つなげる。1300年。

令和5年度企画展

文字が語る 古代多賀城

Characters tell the ancient Tagajo

奈良・平安時代、東北地方の中心地であった多賀城とその南面に広がる
まち並みでは多くの文字資料が発見されており、それらは時を越えて当時
の国の仕組みや人々の営みなど様々なことを現在に伝えています。

今回の展示では、市内で出土した文字資料の内容を読み解き、古代多賀
城の姿にせまります。



多賀城廃寺の本当の
名前!?を記した土器

「観音寺」銘書土器（山王遺跡）
市指定文化財



薬の調合に使った土器

「薬升」銘書土器（市川橋遺跡）



盤龍紋鏡（後漢中期）
東京大学駒場博物館蔵

多賀城の名前の由来と
される文が刻まれた鏡



木簡

多賀城のまち並みから発掘
された文字を書いた木の板

このほかにも貴重な
資料を多数展示

小中学生対象イベント

多賀城歴史クイズ

展示を見て歴史の問題に挑戦しましょう！

対象者 / 小学生と中学生

期 間 / 展示期間中（10月7日～12月17日）ならいつでも参加できます。

場 所 / 多賀城市埋蔵文化財調査センター展示室

参加方法 / 受付で問題用紙をもらい、展示を見ながら問題を解きます。

終わったら受付で答え合わせをしましょう。

参加者にはプレゼントがあります。

関連企画

多賀城歴史秘話 発見！国守館

くにかみのたち
— 題箋軸木簡と遺跡保存の物語 —

平成の初めに持ち上がった陸前山王駅前の マンション建築計画

それに伴い始まった 発掘調査 で見つかったのは

そこが陸奥国の長官の邸宅「国守館」であったことを示す

一級文字資料「題箋軸木簡」

国内で初めて確認された「国守館」を後世に残すことはできるのか・・・

30年経った今、当時の文化財担当者が熱い舞台裏を語ります

日 時 / 2023年12月9日（土） 14：00～15：30（13：30開場）

場 所 / 多賀城市民会館展示室（多賀城市文化センター内）

出演者 / 高倉 敏明 氏（当時：社会教育課文化財第一係長）

石川 俊英 氏（当時：埋蔵文化財調査センター研究員）

相澤 清利 氏（当時：埋蔵文化財調査センター研究員）

小野 史典 氏（当時：社会教育課主事）

※出演者については、諸事情により変更になる場合があります。

定 員 / 80人程度（要申込・先着順）

参加費 / 無料

申込方法 / 電話（休館日除く）または申込フォームで受付

申込開始日 / 2023年10月3日（火） 申込はこちら

電 話 / 022-368-0134



題箋軸木簡



国守館イメージ（山王遺跡千刈田地区）



高倉敏明氏



石川俊英氏



相澤清利氏



小野史典氏

多賀城市埋蔵文化財調査センター

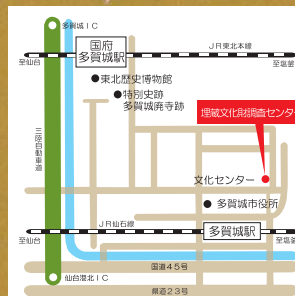
（多賀城市文化センター内）

開館時間 9：00～16：30

休館日 月曜日（祝日を除く）、祝日の翌日（土日を除く）

〒985-0873 宮城県多賀城市中央二丁目27-1

TEL 022-368-0134



多賀城市の文化財 🔍 検索

<https://www.city.tagajo.miyagi.jp/shiseki/bunkazai/index.html>